

## 地区の将来像が決まる!!

“自然豊かで いきいき暮らせる  
笑顔あふれる まちづくり”

神南地区まちづくり協議会会長 伊藤 昭夫

私たちの協議会は令和元年6月22日に設立し、活動の指針となる「地域まちづくり計画」の策定作業に着手。途中、コロナ禍で活動の中断を余儀なくされるも、令和6年2月の臨時総会で地区住民の意見を反映した計画を決定しました。

策定にあたっては、地区内各戸へのアンケート調査による地区課題や意見などを集約するとともに、コロナ禍でできなかった対面での協議会委員によるワークショップを開催してそれらの意見などを深掘りし、検討を行いました。

6月7日に令和6年度の定期総会を開催し、いよいよ今年度から計画に基づく「将来像」を目指して、防災対策や環境保全などの各種事業を実施していく運びとなりました。

神南は香取地区の一部で、香取地区の南部に位置していますが、神南小学校という地域の拠点がなくなってしまった今、神南の名を後世に残すためにも、住民同士の絆を深め、英知を結集して今後の活動を進めていきます。



▲ワークショップの様子



神南地区  
まちづくり計画▶

## 広域避難訓練の映像を 5月の利根川水系水防演習会場で公開

新島地区まちづくり協議会会長 本宮 学

2月4日に加藤洲第2区住民を対象とした広域避難訓練を実施し、協議会関係者や加藤洲第2区住民など約40人が参加しました。まずは、利根川下流河川事務所から講師を招き、防災勉強会を行い、利根川での洪水被害による危険性・避難の重要性を学びました。研修後、実際の災害を想定し、広域避難先である茨城県潮来市の牛堀中学校まで、移動・避難の訓練を行いました。この様子を映像で記録し、5月18日に佐原河川敷緑地で実施された「利根川水系連合・総合水防演習」の会場で公開しました。

1月1日に発生した能登半島地震のように、自然災害はいつ起こるか分かりません。不測の事態に備えた知識や経験に基づき、住民全員が避難時に行動できるような地域でありたいと思います。そのような中で今回のような避難訓練を実施することができたのは非常に良い機会となりました。



▲避難訓練で牛堀中学校に集まる住民